「高額療養費」負担増再考へ

首相 高校完全無償化に慎重

衆院予算委

石破茂首相は4日の衆院予算委員会で、医療費が高額になった場合に患者負担を抑える「高額療養費制度」を巡り、負担上限額を引き上げる政府方針を再考する意向を示した。「いろいろな選択肢がある。高額療養費（制度による負担軽減）を必要とする方々がおり、制度の持続可能性と両方満たす解を見いだす」と述べた。

負担上限引き上げには、がん患者らから不安の声が出ている。首相は「当事者の理解を得ることは必要だ」と強調。4日に自民、公明両党幹事長らが政府方針の一部見直し検討で一致したことに関し、「与党として使命感、責任感を持ち対応する」と語った。

立憲民主党の中島克仁氏と共産党の田村貴昭氏が引き上げ「凍結」を求めたのに対して答えた。「凍結とか白紙に戻すことだけが解決策だと今の時点で認識しているわけではない」とも説明した。

首相はまた、日本維新の会などが主張する所得制限なしの高校授業料無償化に慎重な姿勢を示した。「経済的に余裕がある家庭に負担はなくていいだろうか。恵まれない方々と公平を保つ必要があるのではないか」と述べた。立民の山岸一生氏への答弁。

同時に「理念の問題だ」と指摘。「（所得制限撤廃論の背景にある）社会全体で子どもの教育を支えるという考え方を間違っていると全否定するつもりはない」として一定の理解も示した。

立民の藤岡隆雄氏は、防衛装備品の輸出を促進するため2025年度予算案に計上した基金400億円について「積み過ぎだ」と批判。その分の予算を高額療養費制度に充てるよう主張した。首相は「年度中に案件が具体化したときにお金がないと商機を逸する」と理解を求めた。

衆院予算委員会で答弁する石破茂首相＝4日午後、国会内

「103万円」協議 近く再開合意

自公国

自民、公明両党の政調会長は4日、国民民主党の政調会長と国会内で会談し、所得税の課税最低ライン「年収103万円の壁」見直しに関する税制調査会長間の協議を近く再開することで合意した。この後、日本維新の会の政調会長にも会い、教育無償化に加え、社会保険料引き下げに関しても協議を開始することで一致した。

自公国3党の税調会長は昨年、103万円の引き上げに向けて協議を進めたが、自民が提示した「123万円」に国民民主が不十分だと反発し、協議は中断したままになっている。

会談後、自民の小野寺五典政調会長は記者団に「（与党の）税の専門家チームがどのような提案ができるか、熱心に詰めている。それが出来上がり次第、協議をお願いしたい」と述べた。2025年度予算案の年度内成立に向け、「（予算案や税制関連法案の）修正は当然あり得る。なるべく早い段階で合意ができればいい」とも語った。

国民民主の古川元久税調会長は記者団に「協議が進まなければわれわれが（予算案に）賛成する状況にはならない」と与党を改めてけん制した。

一方、自公維3党は週内にも政調会長会談を改めて開き、維新から要求内容を聴取する。

国職員が二拠点支援

市町村向け4月開始

伊東地方創生相

伊東良孝地方創生担当相は4日の閣議後記者会見で、中央省庁の職員が地方創生に取り組む市町村を支援する制度を創設すると発表した。霞が関と地方の二拠点で、人手の少ない市町村の課題解決を副業的に後押しする。希望する職員や市町村を21日まで公募し、4月に始める。

各省庁から募った2〜3人でチームを構成し、人口10万人に満たない市町村とマッチング。任期は1年で、オンライン会議や年数回程度の現地訪問を通じて、産業振興や移動の足確保といった政策立案を手助けする。伊東氏は会見で「中小規模の市町村の課題解決が進み、地方創生が加速することを期待している」と述べた。

下水道管に水中ドローン

埼玉 道路陥没から1週間

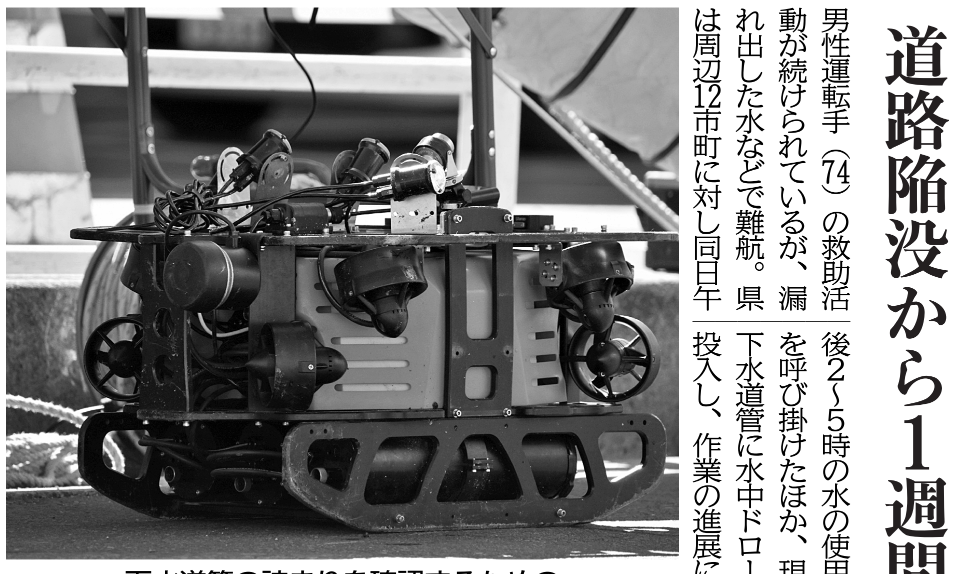
埼玉県八潮市の県道交差点で道路が陥没し、トラックが転落した事故は4日、発生から1週間となった。男性運転手（74）の救助活動が続けられているが、漏れ出した水などで難航。県は周辺12市町に対し同日午後2〜5時の水の使用制限を呼び掛けたほか、現場の下水道管に水中ドローンを投入し、作業の進展に向けた対策の検討を急いでいる。

大野元裕知事は同日の記者会見で、事故発生から1週間が経過したことを受け、「多大な被害、ご迷惑をおかけしていることは痛恨の極み」と述べた。

県によると、下水道管の下流で何かが詰まっている可能性があり、破損した管の上部から水が漏れ出しているとみられる。県は下水道管内部に水中ドローンを投入し、原因を確認した上で、救助活動を進めるため、新たな対策を検討する。

陥没現場では、穴の内部に重機を入れるスロープが完成したが、漏れ出した水などに阻まれ救助活動ができない状態。さらに二つ目のスロープ造成にも着手したが、穴の側面から突き出たコンクリート製の水路が作業の障壁となっている。

事故は1月28日午前9時50分ごろ発生。交差点の中央部が陥没し、通行中のトラック1台が転落した。現場の下を通る下水道管の破損が原因とみられ、半径50㍍が警戒区域に指定されたままになっているなど、影響が長期化している。



下水道管の詰まりを確認するための水中ドローン＝4日、埼玉県八潮市

木村被告 殺意否認

岸田前首相襲撃で初公判

和歌山地裁

和歌山市で2023年4月、岸田文雄首相（当時）の遊説中に爆発物が投げ込まれた事件で、殺人未遂などの罪に問われた木村隆二被告（25）の裁判員裁判の初公判が4日、和歌山地裁（福島恵子裁判長）で開かれ、木村被告は殺人未遂罪について「殺意はありません」と否認した。弁護側は傷害罪にとどまると主張した。

逮捕後黙秘、動機解明焦点

公判では殺意の有無や爆発物の威力などが争われる見通し。木村被告は逮捕後、黙秘を続けており、動機などが明らかになるかも注目される。

検察側は冒頭陳述で、木村被告は岸田氏の遊説日程をホームページで閲覧し、現場となった漁港までの経路を検索するなどしていたと指摘。木村被告が投げた爆発物の一部は約60㍍先のコンテナにめり込んでおり、人が死ぬ可能性が高い行為だとした上で、「現職総理大臣を狙い、周囲の人を無差別に巻き込もうとしたテロ行為で、民主主義の根幹を揺るがす犯行だ」と非難した。

法廷では木村被告が現場で取り押さえられた後、「制限選挙を終わらせ、普通選挙を実現します」と発言する映像が流された。

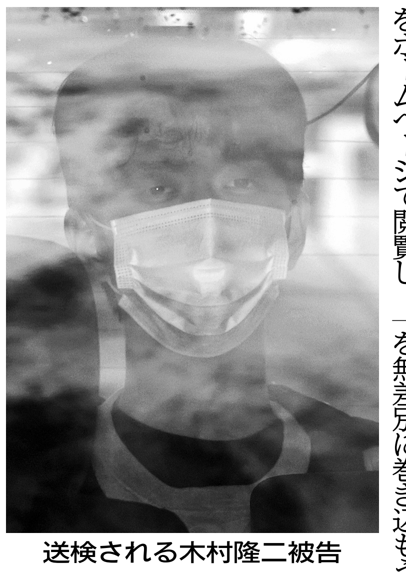
これに対し弁護側は「世間の注目を集める目的だった」と述べ、殺意を否認。事件前に爆発物を製造し、自宅付近の山林で爆発させたが、木村被告はその威力を認識していなかったと主張した。

起訴状によると、木村被告は23年4月15日、衆院補欠選挙の応援演説のため和歌山市の雑賀崎漁港を訪れていた岸田氏らに向け、殺意を持って爆発物を投げて爆発させ、2人にけがをさせたなどとされる。

木村被告は殺人未遂のほか、爆発物取締罰則違反、火薬類取締法違反、公選法違反、銃刀法違反の計五つの罪に問われている。木村被告は火薬類取締法違反と銃刀法違反は認めたが、それ以外は否認した。

検察側は、爆発物の鑑定を行った専門家など3人の証人尋問を通じて、爆発物に十分な殺傷能力があったことを立証する方針。弁護側からは情状証人1人が出廷する。

公判は6日に被告人質問、10日に論告求刑と弁論、被告の最終陳述が行われて結審。19日に判決が言い渡される。



送検される木村隆二被告＝2023年４月17日、和歌山県警和歌山西署

日本遺産 小樽市を新認定

文化庁 産官学連携体制を評価

文化庁は4日、地域の文化財を活用して観光振興につなげる「日本遺産」に北海道の1件を新たに認定した。一方、条件付き認定地域だった福岡県の1件を日本遺産から外し、候補地域に移行した。日本遺産は計104件で変わらない。

新たに認定されたのは、小樽市が申請し、候補地域だった「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」で、産官学の連携体制が構築されていると評価された。候補地域になったのは、福岡県の太宰府天満宮を含む「古代日本の『西の都』」。

このほか、条件付き認定地域だった岐阜県の「『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜」、鳥取県の「六根清浄と六感治癒の地」、島根県の「津和野今昔」は他の認定地域のモデルとなる「重点支援地域」に指定された。

陸自りゅう弾砲

演習場外に着弾か

滋賀、過去に同種事故

陸上自衛隊は4日、滋賀県高島市の饗庭野演習場で行っていた実弾射撃訓練で、りゅう弾砲弾1発が場外に出た可能性があると発表した。着弾場所は確認中だが、仮に場外でも立ち入り禁止区域の山林で、被害はない見通しという。火薬量を誤った疑いが強く、陸自が経緯を調べている。

陸自によると、同演習場では10日までの日程で射撃演習を実施。3日午後2時40分ごろ、日本原駐屯地（岡山県奈義町）の部隊が演習場で、155㍉りゅう弾砲を発射したが、約4㌔先の的周辺に着弾せず、捜索を始めた。訓練中に撮影した映像を確認したところ、火薬カートリッジを予定の倍量の二つ入れており、このため砲弾の飛距離が伸び、約6・5㌔先の演習場境界を越えた恐れがあることが分かった。

同演習場では2018年11月と21年6月にも迫撃砲弾が場外に出る事故が発生。21年の事故も火薬量の誤りが原因だった。陸自は同演習場での射撃訓練を当面見合わせるとともに、対策が十分だったか検証する。

陸自中部方面総監の小林弘樹陸将は「迷惑と心配をかけ申し訳ない。抜本的な再発防止に努める」とコメントした。

時のことば

出生地主義

両親の国籍にかかわらず、出生地の国籍を付与するという主義。米国憲法修正第14条は「米国で生まれ、または帰化し、その管轄下にある全ての者は米国市民である」と定める。親が外国人でも米国で生まれた子供にはほぼ自動的に米国籍が与えられる。

トランプ米大統領は就任初日、出生地主義を見直す大統領令に署名。母親が不法入国し、父親が米国市民か永住権保持者ではない場合に、子供は自動的に国籍を取得できないなどと規定した。連邦地裁は「明白な違憲」として一時差し止めを命じた。

レイアウト・河村　佳徳

金小売価格

（田中貴金属２月４日午前）

【金地金店頭価格】

１ｇ	売り	15499	（△96）
	買い	15329	（△96）

【メイプルリーフ金貨】

	売り	買い
１オンス	511395	466312
１／２オンス	260568	232698
１／４オンス	134803	115463
１／１０オンス	55200	46289

（単位・円、カッコ内は前日比）

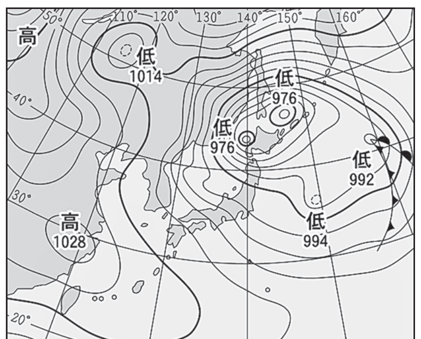
東京外為市場の円相場（４日17：00）

（対ドル）	
現在値（気配値）	155円30〜32銭
前営業日比	32銭の円高・ドル安
高値	154円80銭
安値	155円40銭
（対ユーロ）	
現在値（気配値）	160円14〜15銭
前営業日比	1円01銭の円安・ユーロ高

釧路地方の天気

○○ のち　○○ 時々・一時　■ 予想最高気温（℃）　■ 予想最低気温（℃）

7日（金）	8日（土）	9日（日）	10日（月）	11日（火）
☀	☀☁	☁	☀☁	☀
1	1	−1	−1	1
−7	−9	−6	−9	−12



5日9時予想図

道内・道外の天気と気温（4日15時現在）

	最高	平年	最低	平年	
釧路	1.8	-0.7	-1.4	-10.5	雪
根室	0.7	-1.7	-2.0	-7.5	雪
中標津	0.1	-2.1	-2.8	-14.5	雪
帯広	1.1	-1.4	-2.7	-13.3	雪
札幌	5.0	-0.5	-2.0	-6.9	雪
東京	11.2	10.1	3.7	1.4	曇り
大阪	6.5	9.5	2.3	2.6	晴れ
福岡	4.7	10.4	0.3	3.7	雪
那覇	14.2	19.4	12.0	14.5	曇り

きょうの降水確率

釧路	6時〜12時	10%
	12時〜18時	10%
	18時〜24時	10%
根室	6時〜12時	10%
	12時〜18時	10%
	18時〜24時	10%

6日の暦

	釧路	根室
日出	6:31	6:27
日入	16:41	16:36
月出	10:16	10:09
月入	0:55	0:52
月齢	7.6	

	釧路港	花咲港
満潮	7:22	7:14
	—	—
干潮	0:40	0:24
	15:34	15:35

【釧路地方】南西の風やや強く後強く海上では南西の風非常に強く、曇り時々晴れ所により夕方まで雪。波は4㍍後5㍍。

【根室地方】南西の風やや強く根室南部では南西の風非常に強く、曇り時々晴れ所により夕方まで雪。波は4㍍後5㍍。

根室市況（4日）

（高値—安値）単位＝㌔・円

	根室
タラ	356—86
スケソウ	140—38
黒カレイ	540—22
コマイ	227—108
チカ	594—281
ワカサギ	1944—1296
ニシン	410—22
	花咲
タラ	529—146
スケソウ	86—
鮫カレイ	3618—22
	歯舞
タラ	626—11
スケソウ	108—27
コマイ	216—108
カジカ	313—43
ニシン	313—65
カスベ	518—76
ギンポ	1058—194
ソウハチ	108—11
アブラカレイ	713—302
黒カレイ	648—11
アサリ	1134—832

釧路魚菜市場相場（4日）

（単位：㌔円）

新富士地方卸売市場

	安値		高値
メヌケ		—	
キンキ		—	
メンメ		—	
ババカレイ	216	—	324
ソウハチ	108	—	162
ヤナギカレイ	54	—	410
真カレイ	194	—	432
オヒョウ		—	108
タラ	216	—	486
アブラコ		—	
コマイ		—	54
サンマ		—	
タコ		—	702
生サケ		—	
生マス		—	
ホッケ		—	
カジカ		—	
チカ		—	
マグロ	2160	—	4320
ウニ	648	—	3780
ホタテ	540	—	1296
ホッキ	108	—	302
カキ		—	
シジミ		—	
シシャモ		—	
ニシン		—	248
アサバカレイ	54	—	86
黒カレイ		—	

釧路市公設地方卸売市場

	安値		高値
だいこん	140	—	151
にんじん	248	—	270
はくさい	270	—	281
キャベツ	248	—	270
ほうれん草	1016	—	1080
ねぎ	648	—	713
こねぎ		—	1620
軟白ねぎ	972	—	1080
にら	1512	—	1620
ブロッコリー	828	—	864
レタス	421	—	454
サニーレタス	648	—	675
きゅうり	626	—	648
なす	617	—	679
トマト	594	—	648
たまねぎ		—	162
みかん	486	—	702
りんご	540	—	1188
いちご	2077	—	8308
バナナ	266	—	324
パインアップル	302	—	475
キウイフルーツ	870	—	1050

柩（ひつぎ）の狩人

大沢　在昌・作
河野　治彦・画

第304回

35−3

数分後、浦上（うらがみ）は電話をかけてきた。

「電気系統が故障してるんで、貸せないって断られました。電気が使えなけりゃ撮影は無理ですから。でも、対応したのがいつもの管理人じゃないんです。管理人はけっこうな爺（じい）さんなんですが、今日は、若い男の声でした」

「ホテルの名と所在地を教えろ」

「ホテルの名は『アガメムノン』てんですが、もう看板もありません。場所は――」

浦上の告げた住所を書きとめ、佐江はいった。

「マルというのも含めて、紹介した三人の写真をメールで送ってくれ」

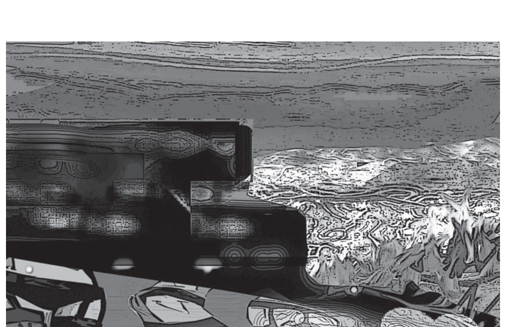
「それはすぐにできますが、佐江（さえ）さん、厚木にいくんですか」

「いって確かめるしかないだろう」

「ひとりで？」

「お前もくるか」

「無理に決まってるじゃないですか。本条（ほんじょう）組に見つかったらマジで殺されます」



「いいだろう。万一本条組とでくわしても、お前から聞いたとはいわない」

「お願いします。本当に。絶対ですからね」

「心配するな」

電話を切り、佐江は時計を見た。午後二時過ぎだ。高速道路の混雑しだいだが、一時間から一時間半もあれば、教えられたラブホテルに到着するだろう。

拳銃と抗弾ベストを準備し、佐江は覆面パトカーに乗りこんだ。

首都高速から東名高速を乗りついで、厚木インターチェンジで一般道に降りた。カーナビゲーションによれば、ラブホテルまで十六キロの距離だ。

浦上の言葉通り、宮ケ瀬（みやがせ）湖へと向かう県道をしばらく走り、西に分かれた側道を左折する。対向車がきたらすれちがうのに苦労しそうな坂道を少し上ると、いきなり金属製のゲートが現れた。南京錠で固定され、「この先私有地　進入禁止」と記されたプレートがとりつけられていた。ゲートは最近設置されたように見える。

佐江は苦労してUターンすると、坂を下りた。県道まで戻り、少し離れた温泉施設の駐車場に覆面パトカーを止めた。抗弾ベストをジャケットの下に着け、徒歩で三十分以上かけて側道に戻る。

ゲートは人ひとりならくぐり抜けられるほどのすきまがあった。